

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

記入日 令和6年5月7日

記入団体名 産前産後ケアINZAI

※市の場合は、所管部署名
記入責任者名 藤村友香

記入日 令和6年5月8日

記入団体名 子ども家庭課

※市の場合は、所管部署名
記入責任者名 大藤 純子

1. 事業概要

事業名称		体力回復のための産前産後ケア教室事業	
事業の実施者	実施団体名	産前産後ケアINZAI	
	所管部署	子ども家庭課	

2. 事業のプロセス評価

(提案書提出前)	設問		回答			
	Q1	申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	①. 実施した 2. しなかった			
	Q2	相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。					

(アイデア審査後、最終審査前)	設問		回答			
	Q3	事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	①. した 2. しなかった			
	Q4	お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q5	協議は対等・協力的に行えましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q6	共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q7	互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q8	最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。						

2. 事業のプロセス評価

(提案書提出前)	設問		回答			
	Q1	申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	①. 実施した 2. しなかった			
	Q2	相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。					

(アイデア審査後、最終審査前)	設問		回答			
	Q3	事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	①. した 2. しなかった			
	Q4	お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q5	協議は対等・協力的に行えましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q6	共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q7	互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	Q8	最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。						

設問		回答				設問		回答			
協働事業実施中	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	①. 行った 2. 行えなかった				協働事業実施中	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	①. 行った 2. 行えなかった			
	Q9	十分できた	できた	不十分	全くできなかった		Q9	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。		○				Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。		○		
	Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった		Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した ②. 残さなかった					Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	①. 残した 2. 残さなかった			
不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。					不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。						
協働事業実施後	設問	回答				協働事業実施後	設問	回答			
	Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった		Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 協働事業実施に集中していたため、一般への成果報告はSNS発信も十分に行えたと言えない。団体内で成果共有の担当を決めて改善する。						成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 各回毎に、参加者との振り返りや、ワーク等を使用し、気持ちの共有を図った。				
	Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない					Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない			
	回答の理由を詳しく記入してください。 実施スケジュールの叩き台や会場用意、案内先名簿を担当課が担当し、実際の案内発送、申込管理、教室実施など実務は団体が担当した。話し合いながら適切な役割分担が出来たと思う。						回答の理由を詳しく記入してください。 団体の特性を活かし、バランスボールを使用してエクササイズを行うという市では行えなかった事項を補って実施できたため。				
Q15 資金負担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない				Q15 資金負担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない					
回答の理由を詳しく記入してください。 協働事業提案の予算内で実現出来たので良かった。					回答の理由を詳しく記入してください。 通知費用・参加人数・実施回数を見て、適切と判断した。						

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		○		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 1日だけ積雪による延期があったが、問題なく、計画通り実施出来た。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。		○		
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 参加費無料で実施出来たことは大きな成果。各出産月、申込枠15名に対し、5名～10名の申込があった。引き続き産前産後ケアの必要性を市民に周知していく催しを団体主催イベントして行っていく。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。		○		
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。 なし				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	○			
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 市内在住の妊婦に事業の案内が出来たことは、協働事業だからこそ出来たことだと感じる。協働事業だったからこそ参加者の負担なくして、産前産後ケア教室を実施し、実際に産前産後ケアを必要と感じる母親が多数いた。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	①. 思う 2. 思わない			
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 受講された参加者のアンケートを見る限り、体力回復のための産前産後ケア教室を継続していくことで、大きな市の活動にもなると感じる。				

協働事業実施後

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		○		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 事前の打ち合わせどおり、市民への通知等を行うことができた。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。			○	
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 成果目標(講座開催数や人数、草刈り等の回数、発行回数、配付数量等)を具体的に示しながら、達成状況を記載してください。 産前1回産後3回(計4回)、4クールでの開催。15回実施(1回は雪のため中止)延べ72名参加。 当課の目的としていた参加者同士の仲間づくりに関しては、一部できない部分があった。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。	○			
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。		○		
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 産後の集いの場所、主催者側の子育て経験を生かしSNS等で随時相談ができる場の提供。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	①. 思う 2. 思わない			
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 主催者側の実施する産後の教室への参加や、身体の回復や仲間づくりに繋がった点がよかったと考える。 しかし、単年で終了してしまった事業のため、課題修正や継続支援の確認ができていない点が課題となった。				

協働事業実施後

記入団体名 産前産後ケアINZAI

記入団体名

子ども家庭課

今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。	今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。
今年度、団体では最低月に1度、産後ケアと母親の為になる楽しい企画を実施することとした。4月は印西市はる農園で行われた保育士による農園プレーパーク内で春空バランスボールとアート体験を行い、協働事業まんぼ★ぽあ教室に参加されたママ達も楽しめました。5月はベビーマッサージ&産後ケアバランスボール教室、6月は食用講座&産後ケアバランスボール教室、7月は子育て相談カフェ&産後ケア、8月は多世代バランスボール教室、9月以降もフェムケアや写真とのコラボ、オンラインバランスボール教室、昨年度まんぼ★ぽあ教室に参加されたママ達の同窓会等を実施予定。また、まんぼ★ぽあ教室を土台にブラッシュアップしたものを来年度の協働事業提案にも検討している。	今年度の事業実施について、団体からの継続の意向がなかったことから本事業の目的を踏まえた事業を市主催で実施する予定である。今後については、市単独での事業効果により、方向性を定める。

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

記入日 令和6年4月29日

記入日 令和6年5月14日

記入団体名 印西市国際交流協会

記入団体名 企画財政部企画政策課

※市の場合は、所管部署名
記入責任者名 川喜田 英博

※市の場合は、所管部署名
記入責任者名 矢口 達也

1. 事業概要

事業名称	やさしい日本語及び中国語による「広報いんざい」の発行事業		
事業の実施者	実施団体名	印西市国際交流協会	
	所管部署	企画政策課	

2. 事業のプロセス評価

(協働事業開始前 提案書提出前)	設問	回答			
	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった			
	Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。				

(アイデア審査後、最終審査前)	設問	回答			
	Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった			
	Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。	○			
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q6 共有すべき課題について確認できましたか。	○			
	Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	○			
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。				

2. 事業のプロセス評価

(協働事業開始前 提案書提出前)	設問	回答			
	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった			
	Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。				

(アイデア審査後、最終審査前)	設問	回答			
	Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった			
	Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。		○		
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q6 共有すべき課題について確認できましたか。		○		
	Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○		
	Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。				
	より多くの外国人市民が広報いんざいの翻訳版を読み、行政情報へのアクセスが容易になることで、より安心した生活を送ってもらえるように心掛ける。				

設問		回答			
協働事業実施中	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった			
	当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった			
	不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。				
協働事業実施後	成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 広報いんざいのやさしい日本語、中国版は、毎月公民館等、公共施設に配布されており、広く市民にいきわたっている。				
	役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない			
	回答の理由を詳しく記入してください。 広報いんざいのやさしい日本語、中国版は、印西市国際交流協会が翻訳を担当し、企画政策課が、編集、校正作業を行い役割分担が明瞭であった。				
	資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。 事前に協議を行い、適切な資金負担であった。					
協働事業実施中	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった			
	当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった			
	不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。 広報翻訳版が1日号のため、校正が送られてくるタイミングと校正が終了し発行する時期との日程が過密になってしまう。早急に発行しなければ掲載している記事のイベントなどが終了してしまう恐れもある。				
協働事業実施後	成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 市ホームページへの掲載や各公共施設への配布およびその他(大学・病院等)関係機関への配布を行った。また日本語教室の生徒へも配布した。				
	役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない			
	回答の理由を詳しく記入してください。 市において広報いんざい1日号の記事を抜粋し協会へ翻訳を依頼。翻訳完了後に再度市においてレイアウト校正作業を実施し発行。				
	資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。 当初事業経費内訳書のとおり実施。					

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。	☐			
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 当初計画通り毎月、何月1日の前25日をめどに市役所から、翻訳原稿をいただき、毎月遅れることなく、10日以内には翻訳原稿を提出いたしました。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。	☐			
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 成果目標(講座開催数や人数、草刈り等の回数、発行回数、配付数量等)を具体的に示しながら、達成状況を記載してください。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。	☐			
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	☐			
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 市民への配布は、協会単独では難しく協働で行うことにより、市民に貢献できた。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	☒ 1. 思う	2. 思わない		
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 印西市には、在住外国人が約3000人おり、市民生活をおくるうえで情報が必須であり、外国人市民への情報提供手段として貢献し、地域課題の一つである多文化k統制に寄与している。				

協働事業実施後

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。	☐			
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 滞りなく12か月分発行することができた。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。		☐		
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 12か月分発行ができ、各施設や日本語教室へも配布しており、多くの外国人市民の方に周知できた。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。		☐		
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。		☐		
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 専門性を有する市民の協力を得て実施することで、多文化共生の施策の推進につながった。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	☒ 1. 思う	2. 思わない		
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 課題として配布後のニーズ調査はできていないので、今後検討をしていく。				

協働事業実施後

記入団体名 印西市国際交流協会

記入団体名 企画財政部企画政策課

今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。	今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。
外国人市民にとって、市役所からの行政情報の理解は必須であり、そのために、広報いんざいは、必要な情報取得の一つの手段である。今後も、広報いんざいの英語版、中国語、やさしい日本語版の発行は、外国人市民との多文化共生社会の形成に役立つと考え、翻訳事業を継続する。	今後も外国人市民意識調査等の結果をもとに、その他言語の広報紙発行の要望があるようであれば、随時検討していき外国人市民のニーズに答えていきたい。

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

記入日 令和6年5月13日
 記入団体名 みんなのいっぽ
 ※市の場合は、所管部署名
 記入責任者名 伊藤かおり

記入日 令和6年5月1日
 記入団体名 環境保全課
 ※市の場合は、所管部署名
 記入責任者名 海老原 勝人

1. 事業概要

事業名称	グリーンカーテンでゼロカーボン「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！		
事業の実施者	実施団体名	みんなのいっぽ	
	所管部署	環境保全課	

2. 事業のプロセス評価

(協働事業開始前) (提案書提出前)	設問		回答			
	Q1	申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった			
	Q2	相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。					

2. 事業のプロセス評価

(協働事業開始前) (提案書提出前)	設問		回答			
	Q1	申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった			
	Q2	相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○			
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。					

(アイデア審査後、最終審査前)	設問	回答			
	Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった			
	Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。		○		
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q6 共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。		○		
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。					

(アイデア審査後、最終審査前)	設問	回答			
	Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった			
	Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。		○		
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q6 共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。		○		
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。					

記入団体名 みんなのいっぽ

記入団体名 環境保全課

協働事業実施中	設問	回答			
	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった			
	Q9	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	○			
	Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	○			
Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった				
不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。					
・天候により計画が変更になることが多々あったため、環境保全課と連携をとりながら対応するよう務めた。環境フェスタが中止になったため苗を市民配布できる場所を新たに探したり、例年にない暑さのためにグリーンカーテンの生育がむずかしい場面も見られた。					

協働事業実施中	設問	回答			
	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった			
	Q9	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。		○		
	Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。		○		
Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった				
不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。					

協働事業実施後	設問	回答			
	Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○		
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。				
	・SNSを活用し、グリーンカーテンの育て方、育てる楽しみなどを定期的に発信した。特に夏は毎日のように発信に市民にPRすることができた。また、気候変動に関する情報も発信し、自分にできるいっぽとしてグリーンカーテンをPRするよう務めた。				
Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				
回答の理由を詳しく記入してください。					
・環境保全課は、市民と本事業をつなぐ場の設定を提供していただいた。そのおかげで、学校、商業施設、公共施設において、本事業をPRすることができた。					
Q15 資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				
回答の理由を詳しく記入してください。					
種の育成、意識啓発のためのPR費用、イベント開催費用、コンテスト実施費用などは、みんなのいっぽの予算内の負担でおさまった。市は上記の活動などを実施するにあたり、公共機関との事前調整や場所の確保を行った。					

協働事業実施後	設問	回答			
	Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○		
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。				
	グリーンカーテンコンテストを実施しコンテストの結果を市ホームページ及び団体のSNSで情報を発信した。				
Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				
回答の理由を詳しく記入してください。					
契約の仕様及び協定書で示したとおり、双方の役割分担をや責任分担を明確にして事業を実施することができた。					
市:①事業の周知・啓発に関すること。②事業に係る必要な助言等を行う。③本事業に係る運営の補助に関すること。④本事業の際に公共施設等を使用する場合の会場の確保に関すること。					
団体:①安定的かつ効果的な事業の実施を行う。②事業に必要な調整を市と行う。③種・苗の購入、育成、配布等に関すること。④事業の企画・運営に関すること。⑤事業の周知・啓発に					
Q15 資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				
回答の理由を詳しく記入してください。					
事業の実施に際し、事業費として適正な資金であった。					

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		○		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 ・天候により中止になるイベント(環境フェスタ)があったが、臨機応変に対応することで計画通り実施することができた。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。		○		
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 成果目標(講座開催数や人数、草刈り等の回数、発行回数、配付数量等)を具体的に示しながら、達成状況を記載してください。 ・種の市民配布(500袋) ・イベントによる苗配布911苗 (はる農園、原小学校、THE GREEN、花の丘公園、戸神フェスタ) ・PRイベント(イオンクールシェア、印旛沼段ボールイカダカップ) ・SNS登録者388人				
Q18 経費の支出は適切でしたか。		○		
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	○			
効果があつた点や課題を具体的に記入してください。 ・協働で事業を実施することができたため、様々な公共の場でPRすることができた。環境問題について市民の意識啓発するには、市民と行政が一体となって取り組む方が単独での事業よりも効果的であった。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	1. 思う 2. 思わない			
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 ・グリーンカーテンを育てることを通して、環境への意識が高まったり、自然にふれる楽しさを味わっていただける市民の姿が見られた。一方で、育てる大変さや経験不足によりうまく育てられないという声も聞かれた。今後も市民のみならずと共に、植物を育てることを楽しみつつ地球の環境問題について考えるきっかけ作りに取り組んでいきたい。				

協働事業実施後

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		○		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 当初予定していた、市内における各イベント時での苗の配布、小学校への出前講座及び苗の配布、市内各公共機関での種の配布、イオンモール千葉ニュータウンでのクールシェアにおけるイベントへの参加などを実施することができました。なお、いんざい環境フェスタでの苗の配布等を予定していたが、事業の中止により実施ができませんでした。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。		○		
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 成果目標(講座開催数や人数、草刈り等の回数、発行回数、配付数量等)を具体的に示しながら、達成状況を記載してください。 【種の配布:500袋配布】 中央駅前地域交流館1号館(100袋)、中央駅前地域交流館2号館(150袋)、市役所本庁舎(150袋)、印旛支所(50袋)、本埜支所(50袋)、 【苗の配布:911苗配布】 ①4月9日イベント(35名参加、54苗配布)、②5月13日イベント(39名参加、42苗配布)、③6月10日イベント(82名参加、124苗配布)、④6月17日イベント(15名参加、60苗配布)、⑤6月25日イベント(120苗配布)、⑥7月7日イベント(250苗配布)、⑦小学校出前講座(220苗配布)⑧SNS等の希望者への配布(40苗配布)				
Q18 経費の支出は適切でしたか。		○		
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。		○		
効果があつた点や課題を具体的に記入してください。 市単独で同事業を実施していた時に比べ、より多くの市民に対して効果的に苗を配布することができ、グリーンカーテンの啓発に努めることができた。また、グリーンカーテンの設置や撤去を苦にして実施できなかった施設などにも団体による支援により、設置することが可能になった。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	1. 思う 2. 思わない			
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 本事業をとおり、これまで以上にグリーンカーテンを活用した温暖化対策や脱炭素化について市民への意識の向上を図ることができた。				

協働事業実施後

記入団体名 みんなのいっぽ

記入団体名

環境保全課

今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。	今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。
本事業が一般種苗業者と競合しないよう、教育機関や公共機関での配布に重点をおく。苗の配布だけでなく、環境意識向上や環境に即した暮らし方への意識向上のため、出張授業やイベントなどでの啓蒙活動に力を入れていく。	6月に実施を予定していた環境フェスタで当初、本事業におけるグリーンカーテンの周知・啓発事業を予定していたが、悪天候により中止となったことから、8月にイオンモール千葉ニュータウン店で行った市とイオンの共催により行ったクールシェア事業の中で同事業を実施し、イオンモールを訪れた多くの市民に参加いただきグリーンカーテンの設置・効果及び温暖化対策について周知啓発を図ることができたため、次年度は環境フェスタ及びクールシェア事業のどちらについても実施することを検討。 出前講座による環境学習の一環として原小学校において、グリーンカーテン設置やその効果について講座を行い、子供たちに対して地球の温暖化問題に対する意識啓発を行うことができた。次年度はさらに小学校を増やして実施することを検討する。 グリーンカーテンを設置した市民を対象としたグリーンカーテンコンテストについても、これまでに実施したコンテストよりも多くの申し込みがあり、コンテスト参加者の感想でも省エネや節電及びCO2削減に対する前向きな意見が多く見られ、環境意識の向上を図ることができた。 次年度は今年度の実施計画にはなかった、公共施設及び事業所などでのグリーンカーテンの設置を実施し、省エネルギーの推進を図る。

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

記入日 令和6(2024)年5月15日
記入団体名 NPO法人エコネットちば
※市の場合は、所管部署名
記入責任者名 小熊 清

記入日 令和6年5月15日
記入団体名 都市整備課
※市の場合は、所管部署名
記入責任者名 松倉

1. 事業概要

事業名称		竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	
事業の実施者	実施団体名	NPO法人 エコネットちば	
	所管部署	都市整備課	

2. 事業のプロセス評価

(協働事業開始前 提案書提出前)	設問	回答			
	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	①.実施した 2. しなかった			
	Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。					
(アイデア審査後、最終審査前)	設問	回答			
	Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	①.した 2. しなかった			
	Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q6 共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。					

2. 事業のプロセス評価

(協働事業開始前 提案書提出前)	設問	回答			
	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	①. 実施した 2. しなかった			
	Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。					
(アイデア審査後、最終審査前)	設問	回答			
	Q3 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	①. した 2. しなかった			
	Q4 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q5 協議は対等・協力的に行えましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q6 共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q7 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
	Q8 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		○			
不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。					

設問		回答			
協働事業実施中	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	①. 行った 2. 行えなかった			
	Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	①. 残した 2. 残さなかった			
	不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。				
協働事業実施後	Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 ・花畑の開花状況を市HPや広報いんざいで紹介、市民活動支援センターHPに掲載依頼。 市内公民館・コミュニティセンターにポスター掲示をお願い、周辺地域の町内会掲示板にもポスターを掲示させていただいた。更に、近隣幼稚園や高齢者施設にポスターをお届けして、お散歩コースでの立ち寄りを声掛けご案内。地域のケーブルTVでも放映していただいた。				
	Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない			
	回答の理由を詳しく記入してください。 ・適時、情報提供や相談を実施して、情報交換に努めている。				
	Q15 資金負担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。 枯れた植栽(河津桜)の復植栽、遊歩道亀裂の仮処置等、現地立会協議後に市で実施していただけた。					

設問		回答			
協働事業実施中	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	①. 行った 2. 行えなかった			
	Q10 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q11 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q12 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	①. 残した 2. 残さなかった			
	不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。 現地立会いを実施し、樹木の枯損や施設の劣化等について情報提供をいただいた。				
協働事業実施後	Q13 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。 広報紙やホームページで季節の花の開花情報を掲載した。				
	Q14 役割や責任分担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない			
	回答の理由を詳しく記入してください。 協働事業計画書のとおりに実施することができた。				
	Q15 資金負担は適切でしたか。	①. 適切 2. 適切でない			
回答の理由を詳しく記入してください。					

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。		☒		
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 ・草刈り、花畑の植栽等の維持管理業務は計画通り実施完了。コロナ以降イベントは中止。花畑を開放して咲きそろったコスモス・ひまわりの刈り取りを楽しんでいただき好評だった。市HP掲載や公民館・コミセンにポスター掲示での広報での効果が大きい。一昨年に植栽エリアを増やした春の芝桜が見頃になり大勢の来場者が訪れて盛況だった。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。	☒			
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 ・草刈り、花畑の植栽等の維持管理業務は計画通り実施完了。秋に実施予定のイベント(コスモスふれあいまつり)はコロナ以降は中止。花畑を開放して、コスモス・ひまわりの刈り取りに花畑を開放し楽しんでいただき、春には面積を拡大した芝桜を大勢の来場者を楽しんでいただけた。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。	☒			
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	☒			
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 ・訪れる皆さんに好評な芝桜の植栽エリアの除草を頻繁に実施、その効果で見事な開花となり、大勢の来場者を楽しんでいただけた。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	☒ 1. 思う	2. 思わない		
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。 ・コロナが5類となり、外出等の制限が緩和され、身近な場所で癒しや憩いの時間を提供できたと思う。				

協働事業実施後

3. 事業の成果評価(事業計画書や事業完了報告書を踏まえて)

設問	回答			
	十分できた	できた	一部できなかった	全くできなかった
Q16 事業は当初の計画どおり実施できたと思いますか。	☒			
実施できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 10月にイベントを実施し、計画どおり実施することができた。				
Q17 当初設定した成果目標や事業目的は達成できたと思いますか。	☒			
達成できた点(できなかった点)を具体的に記入してください。 花畑の整備や日々の草刈り、ゴミ清掃等の活動により快適な景観維持と環境美化が図られた。				
Q18 経費の支出は適切でしたか。	☒			
適切でない支出があった場合は、その内容と理由を具体的に記入してください。				
Q19 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	☒			
効果があった点や課題を具体的に記入してください。 来場者との意見交換や地元の小学校等と協力した活動により地域コミュニティの形成に寄与している。				
Q20 事業の実施により、事業計画で示した地域課題の改善につながったと思いますか。	☒ 1. 思う	2. 思わない		
改善が図られた点や課題が残った点を具体的に記入してください。				

協働事業実施後

記入団体名 NPO法人エコネットちば

記入団体名 都市整備課

今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。	今後の展望 事業の今後についての見通しをご記入ください。
・訪れる人の心が和む印西の花名所として、より多くの皆さんが来ていただけるよう花植えなどに工夫を凝らしながら、環境整備と維持管理に努めていきたい。 なお、従来からの土砂流入堆積や水生植物繁茂など、課題であった調整池機能維持について、R5年度には市が土砂浚渫を一部実施。過去に訪れた方々が強く望んでいる水面が復活することを期待したい。	市民団体の継続した活動により、四季の花の観光名所として定着し、多くの方々のコミュニケーションの場となっている。 引き続き団体との関係を密にし、多くの来場者が楽しめる環境づくりに取り組んでいきたい。